

届出

[平成20年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

四天王寺大学 人文社会学部 英語文化学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 四天王寺学園
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 課長代理 ^{マス}榎 ^イ井 ^{カツ}克 ^{ヒロ}廣

電話番号 072-956-9913

（夜間） 072-956-3181

F A X 072-956-9940

e-mail k-masui@shitennoji.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 四 天 王 寺 学 園

(2) 大学名

四 天 王 寺 大 学

(3) 大学の位置

〒583-8501
大阪府羽曳野市学園前三丁目2番1号

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(モリタ シュンロウ) 森田 俊朗 (平成17年4月)		
学 長	(オクダ セイメイ) 奥田 清明 (平成16年4月)	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫 (平成20年4月)	任期満了による変更(21) (平成20年4月1日)
学 部 長	(ミナミタニ ミホ) 南谷 美保 (平成20年4月)		
学 科 長 等	(ヤマサキ エイイチ) 山崎 英一 (平成20年4月)		

- (注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文社会学部 英語文化学科 学士(人文社会学)	4年	100人	3年次 0人	400人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	()人	100人 (-)	100人 (-)	()人	1.06倍	
志願者数	()	(-) 354	(-) 254	()		
受験者数	()	(-) 335	(-) 236	()		
合格者数	()	(-) 309	(-) 224	()		
B 入学者数	()	(-) 130	(-) 82	()		
入学定員超過率 B/A	()	(-) 1.30	(-) 0.82	()		

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

学年	対象年度				備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[]	[-] 130	[-] 83	[]	平成21年度2年次生について, 学則第40条(転学部転科)により平成20年5月1日付で1年次学生数は130名であったが, 上記制度により1名が英語文化学科へ転入し, 3名が他学部・学科へ転出した。また, 退学により6名が減少し, 更に平成20年度入学生1名が休学したため, 当該学生を1年次に参入した結果, 最終的には平成21年度2年次生は121名となった。
2年次	[]	[]	[-] 121	[]	
3年次	[]	[]	[]	[]	
4年次	[]	[]	[]	[]	
計	[]	[]	[]	[]	

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	4.6%
	うち平成20年度入学者 6人	うち平成20年度 130人	
	(主な退学理由)		
	他大学への入学 1名 就職 1名 経済的理由 1名 勉学意欲の喪失 3名 転学部転科により3名教育学部へ提出		
平成21年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 121人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 83人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	%
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人文社会学部 英語文化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	仏教Ⅰ（瞑想）	1前	1									
	仏教Ⅱ（瞑想）	1後	1									
	仏教Ⅲ（写経）	2前	1									
	仏教Ⅳ（写経）	2後	1									
	聖徳太子概説	1前/後 1・2	2									学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
	人権・同和問題論	1・2前/後 1・2・3	2									学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
	情報処理演習Ⅰ	1前/後		2			1					※1 学生指導の充実を図るため、専任教員の増員（21）
	情報処理演習Ⅱ	1前/後		2								
	数学演習Ⅰ	1前/後		2								※2
	数学演習Ⅱ	1前/後		2								
	数学演習Ⅲ	1前/後		2								
	生命の科学	1・2前/後		2								
	環境の科学	1・2前/後		2								
	化学の世界	1・2前/後		2								
	物理の世界	1・2前/後		2								
	地球と宇宙	1・2前/後		2								
	先端技術	1・2前		2								
	ドイツ語Ⅰ	1前		1								
	ドイツ語Ⅱ	1後		1								
	ドイツ語Ⅲ	2前		1								
	ドイツ語Ⅳ	2後		1								
	フランス語Ⅰ	1前		1								
	フランス語Ⅱ	1後		1								
	フランス語Ⅲ	2前		1								
	フランス語Ⅳ	2後		1								
	中国語Ⅰ	1前		1								
	中国語Ⅱ	1後		1								
	中国語Ⅲ	2前		1								※3
	中国語Ⅳ	2後		1								
	日本語Ⅰ	未開講 4前		1								履修希望者がいなかったため（21）
	日本語Ⅱ	未開講 4後		1								履修希望者がいなかったため（21）
	日本語Ⅲ	2前		1								
日本語Ⅳ	2後		1									
大学基礎演習	1前	2				3	2				初年次教育科目が全学共通の一般科目となり、新たに開設したため（21）	
日本国憲法	1前/後		2									
法学Ⅰ（国際法を含む）	1前		2									
法学Ⅱ	1・2後		2									
政治学	1・2・3前/後 4		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	
経済学Ⅰ	1・2前/後 1・2・3		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	
経済学Ⅱ	1・2後		2									
社会学Ⅰ	1・2・3前 4		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	
社会学Ⅱ	1・2・3後 4		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	
心理学Ⅰ	1・2・3前 4		2								学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）	

一 般 科 目	心理学Ⅱ	1・2・3後 1	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	哲学Ⅰ	1・2・3前 1・2	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	哲学Ⅱ	1・2・3後 1・2	2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	社会福祉概論	1・2・3前/後	2					
	社会福祉行政	1・2・3前/後	2					
	児童福祉論	2・3・4前/後	2					
	老人福祉論	1・2・3前/後	2					
	障害者福祉	1・2・3前	2					
	レクリエーション論	1・2・3前/後	2					
	介護等体験研究	2・3・4前	2					
	スポーツⅠ	1・2・3前	1					
	スポーツⅡ	1・2・3後	1					
	体育講義	1・2後	2					
	共通教育研究	1・2・3・4前/後 1・2・3	(注1) 2					学生の過剰な履修登録を防ぎ、学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	キャリア研究	1・2・3前/後	(注1) 2			1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21)
	学外実地研修	1・2・3前/後	(注2) 2					
海外語学研修	1・2・3・4前/後	(注3) 1～8 (注2)						
知識・技能研究Ⅰ	1・2・3・4前/後	2						
知識・技能研究Ⅱ	1・2・3・4前/後	2						
専 門 科 目	英語圏文化概説	1前	2					
	英語圏文学概説	2後	2		1			
	英国史	1前	2		1			
	米国史	1後	2		1			
	西洋史Ⅰ	2前	2		1			学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21)
	西洋史Ⅱ	2後	2		1			学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21)
	異文化理解	2後	2					
	英書講読Ⅱ(文化)	2前	2		1	1		
	英書講読Ⅲ(社会)	2前/後	2		1 2			平成21年4月より、原田保教授が入試・広報部長に就任し多忙となったため、兼任の石原田教授に担当者を変更したため。
	英書講読Ⅳ(科学)	2後	2					
	英米文化論Ⅰ(米国)	3前	2		1			
	英米文化論Ⅱ(英国)	3後	2		1			
	英米文学論Ⅰ(現代文学)	3前	2		1			
	英米文学論Ⅱ(児童文学)	3後	2		1			
	キリスト教文化論	3後	2					
	英文法Ⅰ	1前	2		1			} ※1
	英文法Ⅱ	2後	2		1			
	英語史	1前	2					
	英語学	2後	2		1			
	英語音声学							
	音声学	1後	2					
	時事英語	2後	2			1		
	翻訳演習	3前	2			1		
	英語学概説	2後	2		1			
	英書講読Ⅴ(言語)	3前/後	2		1	1		
	英文学史	1前	2		1			
	米文学史	1後	2		1			
英語教育概説	1後	2			1			
英語教育論	3後	2			1			
英書講読Ⅰ(文学)	2前/後	2		2				
英書講読Ⅵ(英語教育)	3後	2		1	1			
	2前							
英語文化特殊講義	3	2		5			(注1)	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本語Ⅰ	1	1	一般	選択	履修希望者がいなかったため。(※留学生を対象とした科目)
2	日本語Ⅱ	1	1	一般	選択	履修希望者がいなかったため。(※留学生を対象とした科目)
3						

(4) 廃止科目

特になし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・未開講科目の「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」に関しては、日本語を母国としない学生のみ履修可能となっており、履修希望者がいなかったため今年度は未開講とした。
 ・平成21年度入学生に対するオリエンテーションや掲示、履修要覧等で周知徹底を図った。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計 (2)}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計 (121)}} = 0.01$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。